

すごい、京都には国宝がぎょうさんある

今年は、琳派 400 年の記念の年です。琳派は江戸時代初め京都で生まれた芸術の大きな波です。本阿弥光悦、俵屋宗達が創造し、尾形光琳らによって発展し、今日に受け継がれています。琳派の代表的名画、俵屋宗達作の「風神雷神図」屏風（京都市東山区・建仁寺蔵）は、国宝に指定されています。

京都には琳派の絵画をはじめ守り伝えられてきた歴史ある貴重な文化財がぎょうさんあります。今回は、京都の国宝・重要文化財をみていきましょう。

京都府内の国指定重要文化財は、2154 件（建造物は平成 27 年 7 月 1 日現在、建造物以外は平成 26 年 8 月現在、以下同じ）で、全国（1 万 3001 件）の 16.6% を占めています。京都府は、東京都（2744 件）に次いで 2 番目に多い件数となっています。なかでも建造物は 294 件で、全国で最も多い件数となっています。（図 1、図 2）

京都府内の国宝（国宝の件数は、重要文化財の件数のうち数）は、230 件で、全国（1093 件）の 21.0% を占めています。また、京都府内の国指定重要文化財のうち国宝が占める割合は 10.7% となっています。

（図 1、図 3）

近畿 6 府県の国宝は、599 件で、全国（1093 件）の 54.8%、国指定重要文化財は、5808 件で、全国（1 万 3001 件）の 44.7% となっており、国宝、重要文化財ともに近畿 6 府県が多く占めています。（図 2、図 3）

国指定の文化財の他、京都府、府内市町村が指定、登録している文化財など歴史ある貴重な文化財は、皆さんの身近にあります。ぜひ、足を運んでみてください。

図 1 京都府内の国指定文化財(国宝・重要文化財)

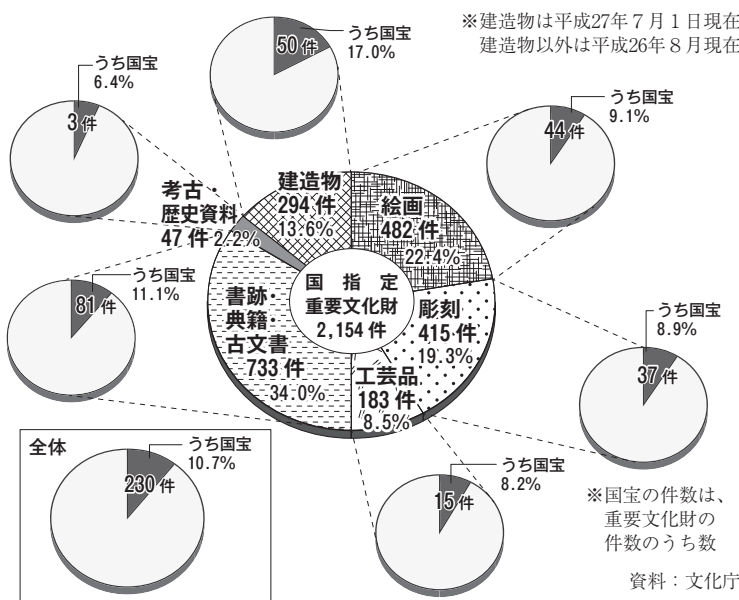


図 2 国指定重要文化財 指定件数(都道府県別上位)

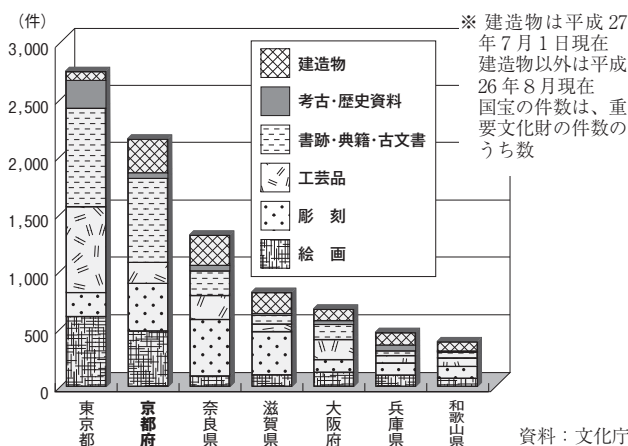


図 3 国宝 指定件数(都道府県別上位)

